※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。 <u>(一財)全国地域情報化推進協会 御中</u> 報告日 2021年9月9日 派遣決定番号 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目) 地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。 記 1. 申請団体情報 1-1. 申請団体 団体名 広島県庁 代表者名 湯崎 英彦 担当者部署 082-513-2603 地域政策局 連絡先電話番号 担当者役職 主任 担当者氏名 年藤 俊一 連絡先E-mail 住所 730-8511 広島県広島市中区基町10-52 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力) 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。 アドバイザー 大澤昌 大変よい 評価 |県内市町の状況や課題を加味しての講演内容の調整や当課からの資料等の修正依頼にも快く対応していただけた。講演において 上記評価の理 |は,複雑化するDX制度やAI・RPA等のデジタル技術の活用等について,わかりやすくご説明いただいた。また,講演後も参加 由(どのよう |者からメールでの質問を受け付ける旨の提案をいただき,大変有意義な講演だった。 なところがよ かったか等詳 細(こ) アドバイザー への要望事項 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績 派遣日 開始時刻 終了時刻 内休憩時間(分) 活動時間(分) 3-1. 活動 2021年8月2日 14時OO分 16時00分 10 110 派遣形態 講演(オンライン) 4.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可 掲載許可 ○掲載可 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果 5-1. 支援を受けた対象者 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 人数 広島県職員,広島県内市町職員 42 人 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 ①RPAの導入が進んでいない団体には小規模自治体が多く、このような団体の支援を行う必要があ 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) ②AI・RPA導入及び活用拡大に向けた課題については「どのような業務を選定すればいいのか不 明1.「参考となる導入事例が少ない」等の課題があり、また地方公共団体の情報システムの標準化に おいては、標準化に合わせて業務改革を行うことが求められていることから、これらについて研究・情 報提供等を行う必要がある。 ①BPR(業務改革)実施団体の増加 支援により目指す成果 ②AI・RPA導入団体の増加 (具体的にご記入下さい) テーマ・・・AI・RPAの運用における業務改革(BPR)について アドバイザーに支援を受けた内容 AI・RPA等のデジタル技術を活用する前提となる業務改革(BPR)についての講演 (具体的にご記入下さい) AI・RPA等のデジタル技術の持つ2面性(ツールとしての技術が欲しいのか,BPRの手法が欲しいの 支援を受け改善又は解決された内容 か)について改めて確認し,デジタル技術の導入に際しては,処理の前後を含めてプロセスの可視化を (具体的にご記入下さい) 行い、IT系の仕事のみでなく、人間系の仕事も含めて整理・見直しを行った上で、RPA等のデジタル 技術の導入を検討することが重要であることを確認した。 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的な成果物 特になし 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果に アンケートの内容と分析結果 ついてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 広島県内の自治体に対して、AI・RPA導入及び活用拡大に向けた課題についてアンケートを実施し た。「どのような業務を選定すればいいのか不明」、「参考となる導入事例が少ない」等の課題が挙げ られた。 最も当てはまるものリストより選択下さい ⑤その他 5-3. 今後の計画 県内各団体において、業務改革(BPR)を踏まえた、AI・RPA等のデジタル技術の導入・活用が活 事業の最終的な目指す姿 発に行われている状態。 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。